

省エネを実現しCO₂排出量削減に貢献 シンガポールの病院に空調用インバータ



Outram Community Hospital



当社製インバータ
「FRENIC-HVAC」

シンガポールでは、高齢者の増加を背景とした医療ニーズの変化への対応と、既設病院の患者受け入れ負担の軽減が課題となっており、同国政府は「コミュニティ病院」の設立を推進している。

2019年12月に開業したOutram Community Hospital (以下、OCH)もコミュニティ病院の一つだ。OCHは、シンガポール初の国立総合病院であるSingapore General Hospital (以下、SGH)の敷地内に建設され、主に急を要しないまたは集中治療を必要としない患者を受け入れることでSGHの負担軽減に寄与するとともに、高齢者や身体に障がいのある患者にリハビリテーション・ケアを提供している。

このOCHに、富士電機アジアパシフィック社(FAP)は、富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社製の空調用インバータ「FRENIC-HVAC」を719ユニット納入した。OCH内の空調・換気に使われるファン・ポンプを制御して風量や水量を

最適化。省エネを実現し、CO₂排出量削減に貢献している。

FRENIC-HVACは、インバータ業界で初めてUL/EPD認証※¹を取得し、環境配慮型製品として世界で高い評価を得ている。さらにシンガポールではグリーンラベル4ティッククラス※²を取得。同インバータを採用した建築物のオーナーは、環境に配慮した事業者として社会的評価を受け、建築物の取得・保持などの面で税制優遇のメリットを得ることが可能だ。

「シンガポールの医療の発展に寄与できてとても嬉しい。今後も事業拡大を通じてお客様のCO₂排出量削減に貢献し続けていきたい」とFAPの白山社長は抱

負を語る。

※1：第三者機関(UL/EPD)による環境配慮型製品に対する認証

※2：シンガポール建設業管理庁による環境配慮型製品に対する認証



※1

※2



富士電機アジアパシフィック社 ドライブ&オートメーションチーム

たとえばこんなSDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



●目標7

すべての人々の、安価かつ信頼できる
持続可能な近代的エネルギーへの
アクセスを確保する

本目標では、再生可能エネルギーの普及とともに、エネルギー効率の改善が求められています。オフィスビルや病院では、空調設備で多くのエネルギーを消費します。「FRENIC-HVAC」は、空調を最適に制御し快適な環境を提供するとともに、省エネを実現し地球温暖化防止に貢献します。



＊本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。